

第2回 京田辺市産業振興ビジョン推進委員会商業・観光部会議事要点

日時 平成27年6月29日(月) 13時30分～16時30分

場所 京田辺市庁舎3階305会議室

■観光

【観光魅力の創出について】

- ・京田辺の魅力の情報発掘が重要。観光地というのはどうしても寺社仏閣になる。一休寺は絶えずリピートする場所ではない。京田辺にリピートしてもいいという魅力が必要。
- ・普賢寺ふれあいの駅を中心とした農・観光連携。神戸の農業公園、ワイン城みたいなバーベキューできるところがあればいいと思う。
- ・イチゴ狩りなどの観光農園は人を集めている。農業だけではなく六次化が必要。
- ・甘南備山は自然が豊かで美しい。地元の人も、市外の人もある。あまり増えすぎても困るかも知れないけれど、客を増やすのはいいことだと思う。
- ・整備を施して、木津川の観光利用は考えられないか。

【観光資源としてのお茶の活用について】

- ・以前はお茶は飲むもの、という感じだったが最近はフランス料理のソースになったり、いろんな用途に使われている。お茶の用途の開発、PRはできないか。
- ・新聞で見たがJA京都やましろが高級碾茶をワインボトルにして打ち出したりしていた。売れるかは別として取り組みの1つではあると思う。
- ・「京田辺の玉露」でやっていきたい。その辺のブランド戦略をどうするかは課題。
- ・京田辺はお菓子屋さんも多いので、お茶を使ったスイーツのフェスティバルをすると良いのではないか。
- ・外国人が来てもお茶を飲めるところが無いと、見るだけになってしまう。そういった設備が必要なのではないか。
- ・和東町が茶園の観光が人気で消費額が伸びている。取り組みとして参考にしたい。

【観光案内所について】

- ・観光協会は、商工会館の奥まったところにあって目立ちにくい。
- ・観光協会はそこでもいいけれど、インフォメーションセンターはもうちょっと便利なところに無いといけない。情報発信力が弱い。

【来訪者の取り込みについて】

- ・問題は、京都の観光客が京田辺まで足を延ばすかどうか。
- ・仕事をリタイアした人を取り込むことが必要。
- ・お金を落としてもらう人をリピーターにしたい。
- ・修学旅行生をどう考えるか。茶もみ体験の取組はとても良いので、旅行会社や学校に推して行った方がいい。

【自転車の活用について】

- ・自転車で走りやすい道路が観光地までつながっているかどうかが重要。
- ・観光地が分散していて歩ける距離ではない。自転車なら可能。
- ・ツアーオブジャパンが開催されるということでコアな自転車ファンが来ている。そういう人に安全に乗れるか聞いてみるといい。
- ・自転車向けの観光マップは立派だが、実際に行くとインフラが未整備で危険。将来的にはインフラ整備が必要だが、まずはここは危険、坂道がきつい、歩行者が多い、とかそういう情報も含めたマップが作られるとよい。
- ・自転車で回ったら拝観料が安いとかインセンティブがあったら京田辺としての姿勢を示すことができる。

【観光の担い手について】

- ・ボランティアガイドなど、個別の活動も重要だが、横のつながり、柔らかいネットワークを作って組織化するのも大事。
- ・転入された新住民に対して、市の魅力の周知が図れていない。市民が京田辺の魅力を認識するのは大事。

【情報発信について】

- ・情報発信の仕方をもっと工夫すべき。
- ・情報発信は、メディアを通じるのが一番いい。無料で情報発信してくれる。メディアが取り上げると、全国的な注目をあびる。中央省庁が取り上げてくれる。お金を使わないで、些細なことでも「こういう観点なら取り上げてくれるか」という視点で工夫する必要がある。

■商業

【商店街について】

- ・物を買うということに魅力がなくなっている。商店街はそこに行ったら何か楽しい、集まってふれあいができる、などの意味を持たせる必要がある。
- ・品物を買うだけでなく、立ち寄って楽しいというコミュニティ機能が重要。地元にこだわりを持つ、というつながりを作らないと通過されるだけで終わってしまう。
- ・商店街組合など、組織化された活性化の担い手がない（新田辺駅の東側だけ）
- ・三山木は商店街ではない。店はあるのだが、点々としていてまとまりがない。まとまるきっかけを作らなければならない。
- ・京都市の三条商店街は空き店舗ができて若い人が入ってくる。そういう不思議な仕組みができている。
- ・京都市内ではお寺が境内で手作り市みたいなことをやっている。そこで売れたところが店舗化して商店街に入ってきている。ラーメン屋のように、屋台から店舗を構えるという動きを見ていると、市（いち）のようなハードルの低い場を作って、そこから担い手を作ることが必要。

【顧客の取り込みについて】

- ・全体としては高齢化が進む。大学があるのでそこに一定数の若者がいる。その購買力をどう引き出すか。
- ・高齢者の買い物困難をいかに減らしていくか（既に生協が宅配に取り組んでいる）。商店街で集めた商品を宅配するような仕組みが必要なのではないか。
- ・サンフレッシュの田辺では、生鮮や冷凍以外の店で買っていただいた商品は配送している。

【地域のビジョンについて】

- ・駅前のビルは近鉄が所有している。老朽化のため、近鉄が積極的に長期契約を取ろうとしていない。
- ・サンフレッシュも47年経っている。次は改装というよりも建て替えになると思う。
- ・以上のことを考えると、新田辺の駅前には利害関係者を集めて共通の活性化ビジョンを作る必要があるかもしれない。
- ・三山木も地域の人たちはばらばらでは難しい。

■キーワード

- ・農業・商業・観光は、「観光の六次化」という言葉にするとか、もう少しキャッチーにしたほうがいい。
- ・京田辺の住民が楽しく買い物ができるまちづくりと、商店街づくりが一体となった楽しいまちづくりの点も重要である。